



議会だより

第160号

発行
平成30年2月1日

■発行責任者：南種子町議会議長 小園 實重 ■編集：議会広報編集委員会 ■住所：南種子町中之上 2793-1 電話 26-1111



ポンカン収穫体験(大館市交流)



広田ミュージアムにて合同写真(飛島村交流)



仲西集落福祭文参加(大館市交流)



広田ミュージアムにて合同活動(飛島村交流)

平成29年第4回定例会(12月定例会)が12月13日~20日まで開催されました。

主な内容

- 一般質問(8名)..... 2~9
- 決算審査特別委員長報告..... 10~11
- 論点..... 12
- 表敬訪問・要請活動報告..... 13~15
- 人事・編集後記..... 16

一般質問



立石 靖夫 議員

名越町長の政策判断を問う

人工種苗生産による繁殖業の振興について

立石 我が国の水産業の中で輸出品目として最つとも重視されているのが養殖ブリであるが、ブリ養殖の将来として、国内需要の天然モジヤコの採捕魚はなくならないにしても、人工種苗への転換を図るため、鹿児島県は国の支援を受け本格的に人工ふ化稚魚実用化に向け施設整備は本年中に完成予定と聞いている。人工ふ化した稚魚を中間育成養殖場として、島間港内が最適地として鹿児島県が事業主体の広域漁場整備事業（島間港消波堤整備）計画について、町長は協力支援するの

町長 水産業をめぐる情勢は漁獲高の減少、魚価の低迷など厳しい状況であり、この中で人工種苗生産による養殖業の振興につきましては、国、県も水産振興施策の一環として、つくり育てる漁業の推進、国内外での戦略的販路拡大を振興するため、島間港における整備計画（消波堤整備）について、町も支援協力を行ってまいります。

島間港消波堤整備の概要

立石 事業概要（事業年度、事業主体、総事業費、事業費負担区分）を示せ。

総合農政課長 温暖な漁場環境を生かした早期ブリ人工種苗の中間育成を行うための養殖場を整備し、漁業経営の安定を図るため、既存港湾施設の沖堤防に新たな沖堤20mを整備し、養殖に必要な静穏海域を造成します。

事業年度は、平成29年度から32年度まで、事業主体は鹿児島県、総事業費、4億円の見込であり、負担割合は国が50%、県が40%、地元町10%となっております。

島間港ブリ中間育成養殖場計画

立石 南種子漁協が事業主体であるブリ中間育成養殖場計画について、町は支援協力するの

町長 町としましても水産振興を図る目的でつくり育てる漁業の推進を掲げておりますので、支援してまいります。

立石 ブリ中間育成養殖場計画の事業概要（事業年度、総事業費、事業費負担区分）を示せ。

総合農政課長 ブリ人工種苗の中間育成を行う養殖場を島間港に整備し、人工種苗は県種苗施設で生産され、島間港で5〜6ヶ月間中間育成し、県内の養殖業者に出荷する計画であります。事業名は種子島周辺漁業対策事業で、事業主体は南種子漁協で、平成30年度から実施する計画で、事業費30年度計画で6900万円、負担割合はJAXA70%、県が10%、町10%漁協10%であります。

立石 ブリ中間育成養殖場を開始したときの地元雇用は何人見込んでいるの

総合農政課長 地元から雇用する事をお願いしていくが5〜6人程度と聞いている。

移住・定住促進の取り組み空き家対策は

立石 全国的に少子高齢化が進む中で、本町においても人口減少のはじめ対策として町外からの移住、定住促進

に努めているが、特に町内の空き家調査を実施しているが、空き家調査状況について示せ。

町長 28年度に行政連絡員を通して調査を実施し、204件の空き家があります。そのうち、所有者が貸してもいいと言う承認件数は現在18件、うち住めそうな家は5件であります。

立石 5件の空き家について、所有者が整備するのか、行政で整備するのか方針を出しているの

町長 空き家調査はうまく行っておりません。整備負担方法も今後検討していきます。

宇宙留学・家族留学希望者の住宅確保

立石 宇宙留学30年度応募者が120名うち、家族で留学は17家族申し込みがあると聞か、住宅問題は解決できるの

教育長 民間の住宅、公営住宅を整備し平成30年度は11家族を受け入れる予定で進めています。



柳田 博 議員

農産物の台風・気象不良に関する被害について

柳田 今年5号・22号と二つの台風襲来を受け、また異常気象ともいえる農作物の不作や被害を受けた。それに農家の高齢化が進み基幹作目作付面積もことごとく減少している。農家販売金額も平成28年度に比べて今年度は、全体的に約3億円の農家所得が減収する見込みである。この事について町長の所見は。

町長 たび重なる台風襲来により甚大な被害を受け、非常に厳しい農業経営を強いられていることは充分認識している。自然災害対策として種々の事業を導入し、町・農協の補助も含めて助成を行っている。その他の品目については、農産物災害対策緊急支援資金の利子補給を町が支援する事業を行ってきた。低金利支援事業ができないか、農協と協議しながら対応していくべきと考えている。

柳田 農家所得が激減し町税等の徴収も難しくなり滞納者も増えるのではと懸念する。所得の減収対策をどのように考えるか。

町長 種子島さとうきび生産者大会を開催し生産意欲の向上を図った。普通作については反収をいかに上げるか。所得の望める園芸品目の拡大で農業振興を図るべきである。それと生産組織と連携を図ることはどうしても必要。

各地区の消防団詰所について

柳田 海拔10㍍以下にある消防団詰所は何箇所あるか。

総務課長 現在8消防団詰所のうち、海拔10㍍以下は5分団詰所(平山・荃永・下中・西海・島間)です。

柳田 南海トラフ・日向灘沖地震等が発生すると7から10㍍位の津波がくると予想される。ほとんどの団員が非常事態の折は海拔5から6㍍の詰所に集合することになる。海拔10㍍以上の位置に移設する考えは。

町長 過去も含め現在もこの事について検討はされていなかった。今後検討すべきと思うので検討させていただきたい。

柳田 現在、トイレのない消防団詰所は何箇所か。

総務課長 現在、下中・西海・島間・長谷の4分団詰所にトイレが設置されていない。

柳田 4地区分団詰所に早急にトイレ設置を要望します。



▲下中分団詰所



▲島間分団詰所

町長 総合的に判断し、詰所の建て直しも含め、長期振興計画からみても当然やりまします。

観光・レジャー客に向けた対応について

柳田 種子島マングローブパークに公衆トイレが設置されている。その付帯施設として更衣室の設置を。

町長 簡易的な更衣室を設置したいと担当課の意見もある。財政上の検討を行い30年度実施したい。

農産物の生産拡大について



大崎 照男 議員

大崎 高収益が期待できる作物として園芸があります。園芸団地を各地区に育成することにより、園芸生産の飛躍的な拡大ができます。園芸団地を各地区につくることはできないか。

町長 本町の農業生産額を上げるには温暖な気候を生かし、高収益作物の導入、拡大であります。高収益品目の振興を図らなければならぬと思いますので進めてまいりたいと思います。

総合農政課長 本町の既存の高収益品目については、輸送園芸を主体とするレーザー、スナックプレンど等があります。園芸品目の団地化による生産振興ですが、団地化のメリットも多くあります。野菜類につきましては、これまで豆類を中心に振興され、過去ソラマメ栽培で茎永地域において団地化が図られた経緯があります。これまでの経緯を踏まえ、優良農地、地域を選定するなど町園芸振興会や

町花卉部会と協議を重ね、高収益品目の振興を図って農業所得の向上に努めてまいりたい。

地方の商店について

大崎 住民からでた声、要望です。現在地方の商店は、下中地区0件、他地区で1、2件それも中央のみ、各集落では、ほとんどがゼロ、高齢者は特に買い者にこまっている状況、地方の商店は経営が成り立たない理由から店を閉じる、やむを得ないことです。店をなくすことは、住民が品物を買えない不自由さはもちろんのこと、人口減にもつながります。行政挙げての経営継続への協力が必要と思います。地方の商店経営継続に補助支援ができないか。

町長 商工会へ消費拡大事業などへの助成を行っておりますが、継続運営のための補助金については、非常に難しいことです。

ふるさと納税返礼品について

大崎 ふるさと納税が年ごとに増額されており、現在、返礼品については、食べ物、飲み物が主ですが、墓の管理等作業で返礼ができないか。

町長 シルバー人材センター等で実施できるようですので、シルバー人材センター等と協議を行い、ふるさと納税の返礼品のメニューのひとつとして登録できないか協議を行い検討していきたい。

あおぞら保育園保育料について

大崎 入園児童扶養者負担金平均で、2万1500円、免除者25名、高額者負担金との差がありすぎるのでは、扶養者負担金を一律にできないか。

町長 利用者負担額は平成27年度から住民税の所得

割課税額によって決められ、生活保護者や非課税所帯は排除され、全部を一律にすることは非常に難しいです。

町・県道について

大崎 南種子町に存在する道路、坂道に、何々坂、何々道とか、耳にしますが、それぞれの名称がついたのかわれとか、由来があつてのことだと思います。主な道路、坂道に、名称由来を詳しく看板に表示してもらえないか。

町長 基本的に検討する必要があります。

教育長 昔から地域の人々が呼び慣わしている道や坂の名前を看板等として表示することで、郷土の歴史を知り、地域への愛情を喚起する糸口となるだけでなく、何よりも観光振興につながります。調査を行い活用を検討し、看板等の設置については、十分な長期検討が必要と考えております。



上園 和信 議員

人口減少克服対策について

上園 減り続ける本町の人口、この現実を町長はどのように受け止めているか。

町長 非常に難しい状況

が来ているのではないかと、思うをしております。とりわけ、農村・山村地域では、生活を支えるべき第一次産業が衰退の一途をたどり、そのため、地域を離れる人々が相次ぎ、過疎化、高齢化に拍車がかかり、多くの地域が空洞化し、共同体としての地域が崩壊しつつあります。本町としても様々な取組をやっているが、とりわけ第一次産業の振興に努力してまいりたい。

上園 厚生労働省が今年

6月2日に発表した人口動態統計によると、平成28年に生まれた子どもの数は97万6979人で過去最少となり、前年より2万8698人減少し、初めて100万人を割り、子どもが生まれた最も多かった昭和24年の269万6638人の3分の1まで落ち込んだということです。

本町の平成29年1月から

11月までの人口動態はどのような状況か。

総務課長 自然増減では

出生者42人、死亡者数82人、自然減で40人。社会増減では転入者数299人、転出者数244人、社会増55人で、全体では15人の増加となっている。

上園 人口減少に歯止め

をかけるには、即効性のある企業誘致が最善と考える。企業誘致の取組み状況は。

町長 私としては機会を

とらえて関連企業も回っており、最近ここに進出できないかと2・3社の企業も来ている。平成29年にはいわさきホテルもオープンし、80人ほどの雇用も生まれ、長谷の公立病院近くにはレストランもできつつある。町の人口を減らさない方法を考えていきたい。

上園 本町の魅力を全国

に向けてどのように発信し、ピーアールに努めているか。

企画課長 町のホームページやフェイスブック、SNS(ソーシャル・ネットワークキング・サービス)を使った情報発信、冊子など紙の媒体各種団体が主催する定住セミナーなどへ送りこみ、町のピーアールに努めている。

上園 宇宙留学平成30年度第23期生応募状況は。

教育長 里親留学109

人、家族留学19世帯27人、合計136人の応募があった。出身地別では、北海道2人、関東64人、関西15人、中部31人、沖縄1人、海外から里親留学1人、家族留学2世帯3人などの応募があった。

上園 136人の応募が

あったとのこと、その受入れ状況は。

教育長 里親留学32人、

家族留学11世帯18人の50人を受け入れる予定で作業を進めている。

上園 自然が豊かで、口

ケット打ち上げも間近で体験できる南種子町で生活してみたい、留学希望者の思いを叶えてあげ、同時に人口減少に歯止めをかけこれを克服するため、受け入れ児童数を増やす考えはないか。

町長 財政的な面もあり今は制限しているが、検討の余地はあるのかなと考えている。

公式な場での町長発言について

上園 米軍基地等馬毛島移設問題対策協議会第一回総会が平成29年5月17日に西之表市役所会議室で開かれ、この席で名越町長は、この協議会から離脱の意向を示す発言があったとお聞きしました。離脱発言その後どうなったか。

町長 端的にいえば今度12月26日に発言しますが、その結果によってはつきり決めます。だから、今のところ決まっていない。

きび作付農家の土層改良事業について



西園 茂 議員

西園 島内で昨年より、きび作付面積が1000畝減少しております。確実に低反収により、農家が生活できない

現状があることを認識する必要があります。農家の高齢化・台風等の自然災害による影響

だけででしょうか。地力の低下が考えられます。対策として堆肥の投入による土壌改良が必要ですが、過去5年間の土層改良事業の実績を示せ。

総合農政課長 国の増産推進支援事業を活用して、過去5年間、新植分の60〜70％で事業を実施し、反収向上が確実に図られている。しかし、この事業は、固定した栽培者だけが利用している現状があります。

西園 町内の堆肥不足が

低反収の要因であるが、島外からの堆肥購入で事業に取り組む考えはないか。

町長 議会にもお願いして、堆肥を購入し、農業の実を上げたい。

キャトルセンターの運営について

西園 セリ市出荷時の、年齢に対する体重はどうなっているのか。

総合農政課長 種子島の平均体重と遜色ない形で推移している。

西園 島内のセリ市回数
の減もなく、間接的にはキャトルセンターの設立目的も、弱感ながら貢献していると考え

えるが、当初の設立目的は達成していると考えるか。

町長 まったく達成しておりません。4年間のブランクがありました。私の不注意で、反省しております。

総合農政課長 キャトルセンターの設置目的は、農家の労働力の軽減・飼養頭数の拡大・投資の抑制・高齢者の経営維持による畜産振興が目的でしたが、1戸当たりの飼養頭数の拡大・町内の頭数維持ができていますが、預託頭数の確保が目的達成していません。

西園 計数的な預託メ
リットの提示・ブラッシングの実施等で飼育管理の向上を達成することで、預託頭数の

確保が可能と考えます。経営の改善を目指し、将来的には民間委託に繋げるためにも、又、系統的にすぐれた牛群を町内に増やす為にも、繁殖牛の導入は必要と考えるが、導入はしないのか。

町長 繁殖牛の導入は、どうしてもやりたい。総合的に検討を重ねて、3月議会で提案したい。



▲キャトルセンター



塩釜 俊朗 議員

ふるさと納税について

塩釜 平成28年度のふるさと納税額の寄付額が過去最高を更新した。同時にふるさと納税額の全国ベスト500も発表されました。南種子町は、303位。本町の28年度の寄付額は2億166万3千円、29年度の目標額は2億円とお聞きする。引き続きふるさと納税の情報発信をすべきと思いますが、今後使い道が問われるのではないかと思う。平成28年度の活用した事業名、29年度に活用した事業名を示せ。

町長 基本的には、税額のうち町の財源となるのは納税額の30%である。平成28年度は1番目教育・文化に関する事業に約2080万円、2番目観光・交流事業1800万円、3番目地域社会の実現に向けたまちづくりに関する事業に1030万円、観光・交流事業990万円、教育・文化に関する事業が900万円、福祉に関する事業が570万円となっている。

塩釜 使い道を指定して寄附をした人に対応するため、又寄付制度に関心を持ってもらうためにも、早急に実態に合ったメニューを示したふるさと納税に関する基金条

例を制定すべきではないか。

町長 首長は充分考えてやらなければいけない。新年度予算についてのいろんな問題もありますので、他の市町の条例も参考にしながら対応してまいりたい。

防災・消防対策について

塩釜 政府は11月1日から、南海トラフ巨大地震の対応を見直し新方法に移行した。巨大地震発生の可能性が高まった場合に情報も発表し住民に警戒を呼びかけることにし、従来の予知を前提にした対応から減災へ方針転換をした。これからいつ来るか分からない災害に備えて、防災指導員を育成すべきではないか。

町長 推進の方法など、本町においても自主研修等を実施し地域防災リーダーの育成に努めたい。

塩釜 各地区に設置している防災行政無線操作卓の活用はどのようにしているか。

総務課長 設置当初、公民館主事が常駐しておりまして、一部地区で運用していた。活用方法も含めて、各地区各集落とも協議していきたい。

町長 地域まかせではなく、主導権を持って調整を早期に図りたい。

塩釜 西之地区の一部の集落では、防災無線が雑音があり聞こえないと聞く、対応はどのようにしているか。

総務課長 今調整をやっている状況です。緊急放送ですので早急に解消できるように対応していきたい。

塩釜 総務省消防庁は、出動する救急車1台に救急隊員3人以上の乗務を義務づけている。現基準を緩和し、3人に1人は準救急隊員に任命した自治体職員や消防団らに充てることを可能とした。どのように考えているか。

町長 準救急隊員を含む救急隊の救急業務の必要性を踏まえながら協議していきたい。

西郷どんについて

塩釜 本町にも明治維新に関する公園がありますが、ゆかりの地として県等から問い合わせはなかったのか。

企画課長 問い合わせはあった。西南戦争の慰霊碑に係るものが釜永地区にありますので、ゆかりの地といえるのではないかと思います。

塩釜 この公園をなんらかの形で情報発信すべきではないか。

町長 今後さらに情報収集を実施して対応していきたい。

塩釜 本町では、明治27年4月25日英国帆船ドラメルタ号が前之浜に難破し下中の家々に分散し、あたたかいおともてなしを受けた。そのお礼にもらったのがインギー鳥。今でも花峰小学校や地域の人々によつて育てられている。本町の明治の歴史を紹介した企画展、町広報誌、図書館、郷土館などで、実施することはできないか。

町長 教育長とも十分協議しながら整理していく必要がある。時間をいただきたい。

前之峯陸上競技場について

塩釜 1.4財幅の全天候型のコース。不陸が見られ両サイドは土が盛り上がり排水がきかない状況である。水をはかせながら練習している。全天候型のコースを広くし、改修すべきではないか。

町長 コースの一部改修修繕 早急にさせたい。



広浜 喜一郎 議員

選挙公約の実現と今後の政策について

広浜 町長は、選挙期間中多くの公約を掲げて当選してきましたが、現在までほとんどの公約が実現されていないと思われまふ。選挙公約は町民との約束です。

一点目に、公立種子島病院経営を早急に立て直し、医療福祉の充実を図るとありますが、26年度は幾らかの黒字経営だったのが、あなたが町長に就任した27年度から赤字が続いております。27年度が約835万円の赤字。28年度が約1087万円の赤字。29年度の9月末での医業収支でも約2054万円の赤字となっており、早急な立て直しどころか、経営状況はますます悪くなってきたている。このような状況を町長はどのように考えているのか。

町長 医師確保が最優先課題で、医師不足が解消されれば経営においても大きく改善されると考えている。

広浜 保育料の軽減も公約として町民と約束していますが、軽減措置を検討したところがあるのか。

町長 保育料の軽減については気になってはいるわけですが、一律に全てやるとするのは不可能だと思ふ。30年度から

実施を検討する。

広浜 温泉水を病院や商店街に活用して地域の活性化を図ると約束しているが、現在までその話しが全然見えてきておりません。一体どうなっているのか。

町長 温泉水の活用の実現に向けては、今動いていないのが現状です。

広浜 島間港から屋久島への高速船就航で観光客を誘致するとか。島間港から鹿兒島への高速船就航で町民の交通利便性向上を図ると約束していますが、少しは県や高速船の船会社とも協議しているのか。

町長 島間から直接鹿兒島に行くのを1便増やしても良いかと思う。島間港の静穏度の確保が一番重要だと思ふので、議会も一緒に根気強くやっつけていかなければいけない問題かと思ふ。

広浜 島間港が整備されれば、本当に高速船が来るのかどうか、船会社とも協議したことがあるのか、以前に就航していた時も、一日の利用者が平均12から13人だったそうですが、これでは船会社も利

益がないと思われまふ。それでも港が整備されれば高速船をつけると思ふのかどうか。

町長 赤字になることは間違いないわけです。町は補助金を出してでも来てもらうことをしていく必要があると思ふがまだ協議はしていない。

広浜 1便の高速船が島間に来ても、自家用車を島間に置いて、帰りの便が西之表に着くようでしたら、また西之表から島間まで車を取りに来なければならぬという問題もありますので、そう簡単にはいかないと思ひますが、船会社と協議をしていくのか。

町長 交渉は、しばらくしません。

広浜 市街地の中心に駐車場とトイレの設置をする約束をしており、議会も陳情書の採択をしておりますが、町長の考えは。

町長 即実行します。

広浜 その予定場所とどれ位の予算がかかるのか。30年度予算に出すのかどうか。

町長 可能な限り早くし

たいと思ひますが、相手のおことですから、答えられまふせん。

広浜 このようにほとんどの公約が実現されていない。公約は町民との約束です。町民からの意見や苦情は、「町長選挙に当選するためにできもしない公約を掲げ、町民をばかにしている。町長にだまされた。」と言う人もおります。このような町民に対して町長は、どのように考えているのか。少しは責任も感じているのかどうか。

町長 私は再選に当たって圧倒的な住民の得票によって当選しました。ほとんどやっつけていないと言っていますが、もう議会では言えまふせん。理解していただきたいと言つても理解しないと思ひます。

広浜 町長の任期も一応平成30年度までだと思ひますが私の取り上げた多くの実現されていない事業の中で、平成30年度に実現できると思われ事業があるのかどうか。

町長 総合的な問題でするので、できないと言つたのが2つかありますが、それ以上は答えられまふせん。



日高 澄夫 議員

国保税は引き上げか引き下げか

**国民健康保険事業で
11月15日市町村説明
会の県が示した納付
金と仮算定について**

日高 ①県が第3回試算で示した一人当たり標準保険税はいくらですか。②市町村説明会で示した内容は、第3回試算とどう違いますか。③南種子町の一人当たり保険税は安くなりますか。

町長 標準保険税について、第3回試算では、11万9983円、11万7070円であり、今回の仮算定では、9万3877円です。

税務課長 第3回試算との違いについて、議員が発言したように仮算定する基礎数値が違うことです。第3回試算は平成29年度予算ベースで算定。今回の仮算定は、平成30年度の予算ベースで試算されており、低く設定されており、一人当たり標準保険税は9万3877円となっております。第3回試算からは安くなっています。

日高 今回仮算定の9万3877円と南種子町の現

行税率からみるとどのようになりますか。

税務課長 平成29年度現在の保険税と比較すると、現在の調定額を被保険者数で割り崩した一人当たりの保険税になりますが、10万6039円となっております。今回の県の仮算定で出された金額についても、現在からすると安い数字で設定されているということになるかと思えます。

日高 そしたら、南種子町の一人当たりの保険税額10万6039円と県の今回の仮算定額9万3877円ということになると、南種子町は、9万3877円に対して条例改正する考え方になりますか。

税務課長 県は、来年1月12日頃に本算定の料率等で算定された結果を示すこととなっております。その結果によって、平成30年度の税率を市町村で決定していくようになります。本町では、平成29年分の所得の確定が、申告が終わらないと確定しません。所得の見込みが難しい状況にもあるため、6月の本算定前に確定した所得に対する税額等を求めて、税率改正はそのとき判

断をしたいと考えています。

日高 賦課方式について、県は南種子町が現在採用している四方式(所得割、資産割、均等割、平等割)から、資産割を除外した三方式にする方針のようですが、南種子町の四方式から三方式に移行した場合税額はどうなりますか。検討されているでしょうか。

税務課長 県は、平成35年度をめどに三方式に統一する方針です。質問の税が高くなるか、安くなるかということについては、固定資産が課税されている世帯は、資産割がなくなりますので安くなるのではないかと思いますが、除外する資産割分を所得割にそれだけ税率を上げないと目的の税額を課税できないということになるので、一概に高くなるか安くなるかについては、試算をしてみなければ何とも言えない状況です。

日高 平成28年度決算で、決算補填目的等で2274万円法定外繰入をしています。29年度は3000万円位の繰り入れをすることで医療費を低くおさえて国保税に跳ね返らないと期待しますが、

県が実施する激変緩和措置で払える国保税は見込めるか。

税務課長 どれが本当の払える税金になるのか線引きは難しいです。県の示す標準保険料に基づき、しっかりとした算定にしていけばきょうとと考えています。

日高 決算補填等目的の法定外繰入れも大事でしょうが、やっぱり払える国保税にする。低所得者に負担がかかっていると思いますので、国保税そのものの引き下げのために法定外繰入れの考えはなにか町長にお伺いします。

町長 非常に難しい問題だと思えます。これまで税率の引き上げをせず、一般会計からの法定外繰入れ、基金の取り崩しで運営しています。30年度から国保財政の運営を県が担うことになっていますが、税率改正や法定外繰入れは市町村判断となっておりますので、ボーダーラインのことも含んで慎重に検討したい。

平成28年度 一般会計・4特別会計を認定

平成28年度一般会計並びに4特別会計の歳入歳出決算認定は9月定例会で決算審査特別委員会に付託され、10月16日から19日までの4日間、各課・事務局の決算状況の審査を行いました。

審査の基本方針

- (1) 予算が議決した趣旨と目的に従って適正かつ効率的に執行されたか。
- (2) それによってどのような行政効果が発揮されたか。
- (3) 公の施設の活用・管理は適正にされているか。
- (4) 基金等の運用管理は適正か。
- (5) 平成27年度決算認定における要望・意見及び平成28年度予算議決に対する意見がどのように処理され、反映されたか。

歳入

歳入の審査にあたっては、

- (1) 町税・使用料等の徴収がよくされているか。
- (2) 補助金が適期に確保されているか。
- (3) 町債が確保されているか。
- (4) その他の収入確保は十分であったか。

歳出

歳入の審査にあたっては、

- (1) 支出が適法・適性にされているか。
- (2) 不用額は妥当であるか。
- (3) 予算流用・予備費充用は適正にされているか。
- (4) 補助金の効果はあがっているか。

などを重点に審査しました。

審査の結果

その結果、平成28年度一般会計、国民健康保険事業勘定特別会計、簡易水道事業特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療保険特別会計の歳入歳出決算認定は、委員会で採決の結果、これを認定すべきものと決定しました。

一般会計

1. 歳入総額	5,395,966,283 円
2. 歳出総額	5,326,006,894 円
3. 差引残高 (1-2)	69,959,389 円
4. うち翌年度へ 繰越すべき財源	3,228,000 円
5. 実質収支額 (3-4)	66,731,389 円
6. 基金繰入額	46,000,000 円
7. 翌年度繰越額 (5-6)	20,731,389 円

国保特別会計

1. 歳入総額	1,058,552,803 円
2. 歳出総額	1,032,979,567 円
3. 差引残高 (1-2)	25,573,236 円
4. うち翌年度へ 繰越すべき財源	0 円
5. 実質収支額 (3-4)	25,573,236 円
6. 基金繰入額	25,573,236 円
7. 翌年度繰越額 (5-6)	0 円

簡易水道事業特別会計

1. 歳入総額	451,751,671 円
2. 歳出総額	449,739,878 円
3. 差引残高 (1-2)	2,011,793 円
4. うち翌年度へ 繰越すべき財源	0 円
5. 実質収支額 (3-4)	2,011,793 円
6. 基金繰入額	0 円
7. 翌年度繰越額 (5-6)	2,011,793 円

介護保険特別会計

1. 歳入総額	650,711,662 円
2. 歳出総額	649,935,425 円
3. 差引残高 (1-2)	776,237 円
4. うち翌年度へ 繰越すべき財源	0 円
5. 実質収支額 (3-4)	776,237 円
6. 基金繰入額	0 円
7. 翌年度繰越額 (5-6)	776,237 円

後期高齢者医療保険特別会計

1. 歳入総額	81,912,980 円
2. 歳出総額	79,849,756 円
3. 差引残高 (1-2)	2,063,224 円
4. うち翌年度へ 繰越すべき財源	0 円
5. 実質収支額 (3-4)	2,063,224 円
6. 基金繰入額	0 円
7. 翌年度繰越額 (5-6)	2,063,224 円

平成28年度 財政状況

平成28年度末町債残高	6,489,196,406 円
基金残高	2,290,815,442 円
公債費比率	12.2% (※1)
将来負担比率	58.2% (※2)

※1 比率が低い方が良い。18%以上になると町債発行に国の許可が必要。早期健全化基準は25%。
 ※2 比率が低い方が良い。早期健全化基準は350%。

審査での主な質疑・応答

(紙面の都合で一部を抜粋)

問 入札執行の予定価格の立て方は、適当か。全体的に落札率が高い。

答 予定価格は、国の指導のもと、歩切りなしで設計額を予定価格としている。

問 種子島観光協会に300万円補助しているが、ほとんどが人件費ではないか。

答 観光協会のあり方と観光の進め方を今後協議しながら改善をしていきたい。

問 滞納繰越分を含め、3.29%の収納率の増加となったとあるが、収納率の上がった理由は。

答 県の指導のもと平成29年度から本町と中種子町が足並みをそろえ、延滞金をとるということが町民に周知出来、理解を頂いたものと思う。

問 公用車の取得購入について、各課で購入しているものを総務課で一括し入札購入出来ないか。又全台数をリース会社との契約は出来ないか。

答 パソコン等は一括で共同入札すると安く購入出来る。当然車も安くなることも考えられる。次年度以降検討したい。

又リースに関しては58台が普通・軽自動車・軽トラックであり検討させて頂きたい。

町執行当局への申し入れ事項

- 1 町税や各種使用料等に多額な収入未済額、不能欠損処分がある。税等の公平性や自主財源の確保の観点から、収納体制を強化すること。
- 2 予算流用については、充分留意し、安易な流用をしないこと。
- 3 完熟たい肥の増産は本町農業の所得向上に必要な課題である。原料確保に努め、なお、キャトルセンター、堆肥センター事業の独立採算制を達成するため努力すること。
- 4 ふるさと応援寄付金については地域の活性化対策に活用すること。

決算審査特別委員会

委員長	柳田 博	委員	立石 靖夫
副委員長	大崎 照男	〃	塩釜 俊朗
委員	西園 茂	〃	河野 浩二

論

点

平成29年度一般会計 補正予算第9号の審議 から

今回の補正は、予算の総額に歳入歳出それぞれ921万8千円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ55億7042万5千円とするものがあります。

質疑 河川水質分析調査、業務委託。成果品は出たのか。
保健福祉課長 町内の河川全ての水質の分析調査をしているところで、結果は出ていない。

質疑 雇用機会拡大事業の、1500万円の減額の理由は。

企画課長 有人国境離島

事業の中で、雇用機会拡充事業で5件、国に申請をあげた採択は2件で、3件採択されなかった分の減額である。

質疑 雇用機会拡充事業、9月議会での補正で1347万4千円増額している。採択が認められなかった時期はいつだったのか。

企画課長 9月の中旬に応募をして、10月の末に連絡が来た。その段階で3件について不採択の通知が来た。

質疑 2件についてどのような事業が採択されたのか。

企画課長 地ビールをつくって販売して雇用を生み出しますという事業が1件。もう一つは、ジェラート(氷を使うアイスクリーム)それを製

造して販売して雇用事業をやるという2件が採択された。

質疑 地ビール、ジェラート製造の進捗状況と販売の計画は。

企画課長 まずジェラートですが、加工場の建設に入っている。試作はやっているが、販売までには至っていない。地ビールについては、設備を置いて試作品ができ一部販売開始となっている。地元を中心に販売していくと聞いている。

質疑 公営住宅の補修工事で209万円補正している。上中の焼野に1年以上も放置された住宅があります。どうして修理をしないかわかりませんが、住宅を修理すれば、入居者はいると思います。が、修理しない理由は。

建設課長 現在、補修の検討をしている。今その準備をしていて補修のほうには入っていないところです。
今回の予算分については、特公賃の住宅で、荃永の松原団地と、西海の牛野団地の補修を計画している。

質疑 保健体育総務費、補助金、県民体育大会出場補助129万5千円減額されている。金額的に多いが内容についてお聞したい。

教育委員会社会教育課長 県民体育大会につきましては今年度は台風の影響で中止になった関係で減額した。

質疑 種子周辺漁業対策事業補助金を12万3千円減額している。年間の補助金は幾らか。

総合農政課長 竹崎港のしゅんせつ事業で2800万です。

質疑 補助額については。

総合農政課長 補助については80%、事業費補助については2240万円というところで、町は負担金という形になります。

質疑 ふるさと納税の事業で旅費が30万円組まれている。どういふところに活用する旅費か。

企画課長 今ふるさと納税で依頼している業者にJTBの「ふるぽ」というのがある。特に昨年実績で一番多かったのはJTBであり、JTBとの打ち合わせのために必要な予算をお願いしている。



要請活動

(JAXA・三菱重工業株式会社)

町議会、飛鳥村表敬訪問

とJAXA・三菱重工業

(株)への要請活動について

飛鳥村(ふれあいの郷・北掘点避難所・三菱重工業(株)飛鳥工場・日光川水こう門)

目的は、飛鳥村、飛鳥村議会との交流及びJAXA・三菱重工業(株)への要請活動が目的です。

又この機会を捉え、本町経済の活性化に対応すべく、議員としての知見を広め、市民の期待に応えたく、視察研修を実施した次第です。

●日程

平成29年11月25日～28日

●訪問・視察地

三菱重工業(株)・太田市場・JAXA・かごしま遊楽館・鹿児島県東京事務所

JAXA・三菱重工業(株)への要請活動内容について

①種子島空港の滑走路を3000mに延伸・付帯設備の整備及び輸送道路の整備
②県道西之表南種子線から種子島宇宙センターロケット組立整備棟への新道路整備について。
③南種子町での雇用機会創出について
④三菱病院による公立種子島病院への医師派遣を含む医療連携について。(三菱重工業(株)のみ)
以上の内容にて協力体制を依頼しました。
その他の質疑では、企業誘致の件がありました。『需要あるところに企業が集まる』との話で、本町への進出は『できないであろう』とのことでした。

又国道58号線(鳥間・上中間)県道(上中・荃永間)の道路幅員改良実施について。
『①・②については種子島での宇宙開発事業の更なる円滑な推進のために、本町は国・県



▲三菱重工業(株)要請活動



▲JAXA要請活動

行政視察 (飛島村・大田市場他)

飛島村視察では、

(2016年6月2日、本町

とロケットロード・パートナー

シップ宣言をし、友好自治体
となる。)

●愛知県西南部に位置し、面
積は22.42^キkm²、平均して海拔
マイナス1.5^{メートル}マイナス1.2^{メートル}の
地域であること。排水路・排水
機場の整備で水害対策に万全
を期す村であること。

人口4604人・世帯数1
554世帯で、昼間の人口は
2万人を越しています。

●村の財政状況は、とにかく
豊かで、村民税約9億円(内
法人税6.1億円)固定資産税29
3億円で自主財源比率88.5

割・公債費比率0割です。基
金残高は94億円です。

●安全面では津波対策に重点
がおかれ、4カ所、全地区に避
難所が設置され、村民以上の
人々が1週間の避難が可能と
のことでした。

●工業・商業の、26年産商品
販売額は3308億円と経
済規模が格段に大きい。

『住民一人ひとりが主役に
なれるむらづくりを目指す飛
島村、(小さくともキラリと光
る村)今後どんなおつき合い
が出来るのか。楽しみであり、
課題です。』



▲飛島村表敬訪問



▲飛島村視察 (日光川水こう門)

太田市場視察では

平成27年の京浜地区の青

果物流通は、全11市場で1兆

9979億円で、内太田市場

は9498億円です。青果物

の市場流通は60割と言われま

す。年々ネット販売が拡大し

ておりますが、市場の取り扱

いが減少するにしても、急激

な減少はないと思われていま

す。鹿児島県の青果の出荷量

は95億円程度で、主な物は実

えんどう・ソラマメ・キヌサヤ・

オクラ・らつきよう・バレイ

シヨキンカン・甘夏等が主流

です。

今後の農産物の流通は、生

産者から直接、消費者に大量

に取り扱うことが可能な環境

となり、有利販売も検討でき

ます。今後とも本町の美味し

い農産物の生産に取り組み、

広く消費者に喜んでいただけ

れば幸いに感じます。尚一層頑
張りしたいと思います。

●視察研修をふり返って

今回の訪問地、予想以上の

歓迎を受けました。町議会の

責任のおもさを尚一層痛感し

ております。今後の本町の取

り組みとして、「JAXA・三

菱重工業(株)等の関係各位

とのおつき合いは勿論のこと、

来町する方々を大切に、町

民上げて尚一層おつき合いを

深めていただきたい。」と思

いがしております。今回の研

修で各議員とも、得る物が多

くあったと思います。各議員に

会う機会がありましたら、

ぜひとも報告を聞いていただ

きたいと思えます。

以上で要請活動、行政視察

報告を終わります。



▲大田市場視察



▲遊楽館視察

南種子町のホームページについて

南種子町のホームページでは、次のような情報を掲載しています。

是非ご覧ください。

- 定例会の会議録（平成27年第2回定例会分から）
- 議会だより（平成26年3月発行分以降）
- 議会会期日程・一般質問通告書（質問する事項をまとめたもの）
- 請願・陳情の提出方法 等



団体募集

議員との意見交換会

南種子町議会では、政策提案機能の強化及び拡大を図るため、意見交換会を開催いたします。

次のとおり希望する団体を募集いたしますので、どうぞよろしくお願いたします。

○対象
各種団体等

○意見交換の内容
あらかじめ提出していただいたテーマに基づき実施。
なお、時間は1時間から1時間30分程度。

○開催時間・場所
できるだけ各団体の要望する時間・場所で実施できるよう調整いたします。

○参加する議員
意見交換する内容等に応じ検討いたします。

○その他
具体的な実施方法等については希望団体と協議し決定いたします。

○問い合わせ及び申込み先
南種子町議会事務局

電話 ②6 1111(内線280)



牛野 和亜氏

牛野 和亜氏
南種子町中之下1919番
地125
昭和17年3月4生

固定資産評価審査委員



議会を傍聴してみませんか

町民の皆様にも、町議会の活動や町政の進め方などをよく知っていただくために、多くの方に傍聴していただきたいと考えています。

傍聴するときは、傍聴者名簿に住所・氏名・年齢を記入するだけで傍聴できます。

町議会の定例会は、年4回（3月・6月・9月・12月）開催されています。開催日が決まりましたら防災無線でお知らせいたします。

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

問い合わせ先 ☎26-1111（内線280・281）

編集後記

鹿児島県庁のホームページ「県推計人口及び人口動態」で、思わず微笑んでしまう情報を見つけた。県下43市町村中、始良市・三島村・そして南種子町の3自治体の人口だけが、平成29年12月1日現在の対前年比において増加しているのである。他の40自治体は軒並み減少。因みに西之表市は239人の減。中種子町は143人の減少となっている。

原因として、始良市は地理的要因が影響しており、県土の中心に位置していることから交通アクセスの利便性が取り上げられる。三島村は行政のイターン者定住促進対策が効力を発揮したようだ。

では、南種子町の平成29年における人口増加の要因は何か。それは岩崎ホテルの再開、宇宙留学における家族留学（留学生に親が同伴）の導入、ふるさと応援隊が本格的に始動、そしてイターン者の移住などが挙げられる。一見、単純で偶発的な理由とも思えるが、人口減を食い止める方法があることを如実に物語っている。政策を駆使しアイデアを出すことや、アンテナを揚げ町の情報を存分に流す。又、逆に全国からの情報を吸収し、それを政策に反映させることが重要と考えられる。

日本は完全に人口減少社会に突入した。国立社会保障・人口問題研究所の

「日本の将来推計人口」によると、2015年に1億2700万人だった総人口が、40年後には9000万人を下回り、100年後には5000万人ほどに減ると云う予想だ。政府は国家の存亡にかかわること故にこの予想を無視出来る訳がなく、今後あらゆる政策を投入して来ることだろう。我々、地方自治体も真摯に受け止め、発展的姿勢で望まなければならない。

地域おこし・村おこしと云う言葉を聞かなくなつて久しい。私達は、もう一度この事を復活し、町民・行政・議会が一体、一丸となつて進むことで南種子町のコミュニティを維持していかなければならないと考える。

南種子町は卑弥呼の時代（紀元3世紀）、広田人が躍動し、中世においては鉄砲伝来の地として、戦国時代を終結させた歴史を持つている。そして現在地球人が目指す宇宙への玄関口として、世界から注目されている町でもある。「未来は開かれていくことを確信し、町民全体でこの町を慈しみ、育んでいかなければならないと思う。」

議会広報編集委員会
（文責）河野 浩二